

ムーヴの車椅子 ラリーの試乗レポート

日本経済新聞の6月25日夕刊に、「こだわりの“高級車”」として紹介されて話題になった、有限会社ムーヴの車いす「ラリー」の試乗レポートです。目指したのは「見てカッコ良く乗って気持ち良い、すれ違った人が振り返りたくなる車いすのベンツ」だそうです。



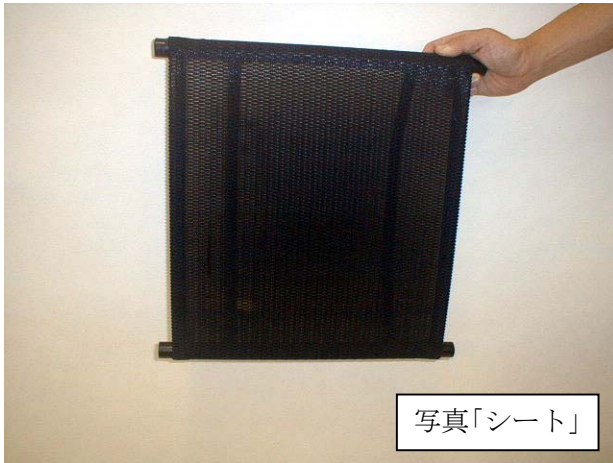
ムーヴの代表 廣川様にお会いしてきました。ラリーのことについて いろいろなお話を聞いてきました。また試乗もさせて頂きましたので、その乗り心地、動きなどにもついでの私の個人的な感想です。

廣川さんには 神奈川県海老名市にある・神奈川県産業技術総合研究所の玄関まで迎えに来ていただきまして、研究室の一室に案内されました。大きなデスクと壁側にはパソコン。各部品を納める収納棚。床にはサイズや色の異なるラリーが 何台も置いてあり、その周りにはタイヤなどのパーツもたくさん置いてありました。またその一角に撮影できる場所が設けてありました。ムーヴは廣川さんが設立された会社であり 開発した車椅子なので研究所ということで通されたお部屋は想像していた通りです。工場でもなく店舗でもありません。まだ、これから折りたたみの車椅子

も開発して行くお話からこのスタイルは暫く続くように思います。このお部屋で開発したものを試作・製造していくそうです。設立して4年ですが、2年近くは アルミフレームの開発に費やしたそうです。

また メッシュの生地ですが、当初、ハーマン・ミラーのオフィス用のチェアの生地を使用したいと望んでおられたようですが、アメリカのこの生地ของบริษัทからお返事が頂けなく、そのような状況の時に 川島織物からお話があったということです。生地ですが、「バネックス」と言います。ナイロンコードとポリエステル繊維を絡ませた二重構造メッシュです。大手家具売り場のオフィス売り場にメッシュでモダンでとても目をひくチェアが置いてあります。このオカムラのチェアも川島織物のメッシュを使用しているそうです。もし目にされる機会がありましたら、すわり心地や感触などを体感してみてください。裏側がナイロン、表が繊維です。また この「バネックス」は直接シートフレームに装着されます。それと座の部分は取り外しができ、中性洗剤で洗うことができます。そのまま外さずに網戸を洗うようにスポンジで洗ってもよいそうです。

シートを破損した場合もこれだけ交換可能です。(写真「シート」参照)

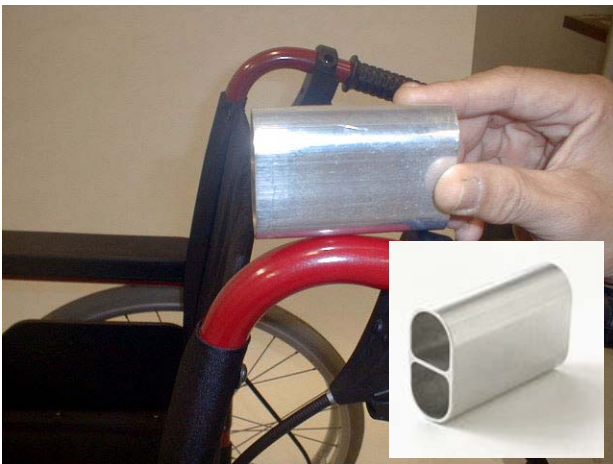


ハーマン・ミラー

<http://www2.hermanmiller.com/global/japan/product/aeron.html>

オカムラ「コンテッサ」

<http://www.okamura.co.jp/product/office/seating/contessa/>



アルミ合金（アルミニウム・マグネシウム・鉛の三元合金）は 直に触ってみるととても分厚く硬いものでした。アルミ合金7000番系で漢字の「日」の形からも強度がより高く、このもの自体が壊れるということは滅多にあることではなく、破損することがありうるならば、その時は人間の身体が持たない非常事態の時と考えます。「日」

ということからも横からの衝撃には強いと思います。またこのアルミ合金を溶接するには高度な技術がないと難しく、その為に住友軽金属の紹介から国内の企業に発注することとなったようです。その会社・(株)坂口製作所はアルミ合金の溶接として空港の消防車や新幹線のタンクなども手がけているそうです。その会社の溶接としてはラリーが一番小さな乗り物だとかもおっしゃっていました。



背もたれの高い、ハイバックレストに試乗させて頂きました。すわり心地ですが、柔らかすぎず、硬すぎず弾力があります。座ってしましてお尻が痛くなりません。長く座っていると腰や背中、脊髄を中心に両脇が凝るような感じ、時々背筋を伸ばしたり、お尻を浮かし座り直しをしますが、まったくその必要を感じませんでした。不思議なんです、背中が特に気持ちがいいです。背中の凝りが取れていくようで身体が楽になっていきます。かといってマッサージ機で強制的に揉み解されるのではなくすうっと背中が軽くなるような感じです。それと車椅子を動かしても座の部分に遊びがありません。フィットしたままです。座

っているうちにずれることはありません。常に正しい姿勢で楽な姿勢が保たれるようです。ずっと座っていたい車椅子でした。スーツガードを外してある車椅子の写真でもお分かりになると思いますが、この背もたれの角度と弾力のあるメッシュの素材によるものとの説明を受けました。（写真「スーツガードを外したもの」参照）



写真「スーツガードを外したもの」

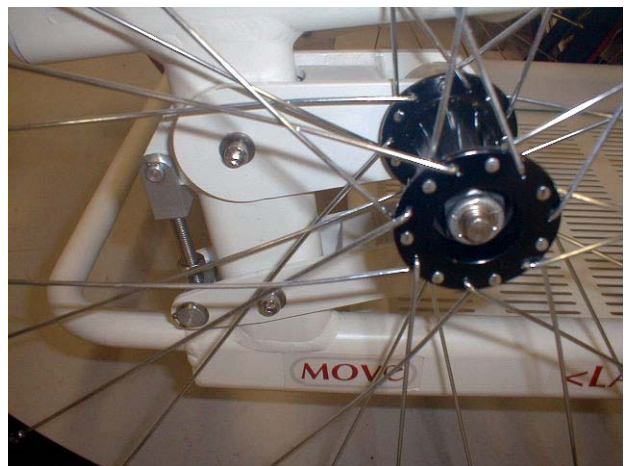
車椅子自体 軽く動かします。今のお借りしている車椅子より楽に動かします。4WS（4Wサスペンション・四輪独立懸架式）でもある為、小回りもききます。また衝撃ですがサスペンションがあるために人も衝撃を和らいで感じますが、キャスターにスプリングが付いていることにより、キャスター自体も衝撃が吸収されているように感じました。同じものを他社でも使っていて壊れるらしいですが、今まで壊れたことが無いと廣川さんは話してくださいました。キャスターホイールの商社もびっくりしているようですが、そのことについて廣川さんは、コイルスプリングが衝撃を吸収するため余分な負荷がホイールに加わらないからではないかとお話いただきました。

また スプリングを変えることにより、足で歩くタイプにも変更できるようです。

サスペンションですが、現行のものより広いものを使用すること。これにより一段と強度が増すそうです。（写真のサスペンションの現行・新型を比較してみてください。）



写真「現行のサスペンション」



写真「新型のサスペンション」

タイヤのゴム自体も丈夫なようです。このゴムもかなり厚みがあるように思われます。空気圧は5kg以上が望ましいとのこと。出来れば週に一回は点検するのが最良とのことです。

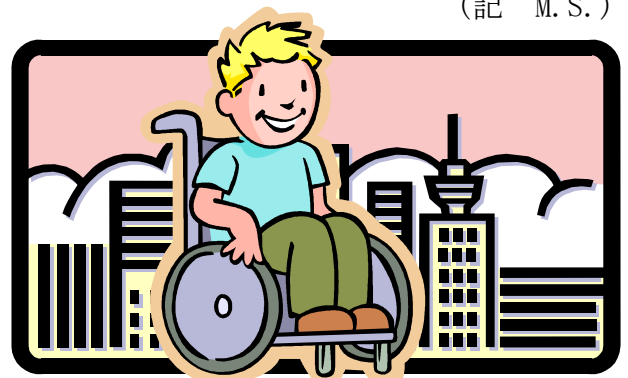


写真の足元の比較ですが、フレームの中に足が納まることで足をぶついたりする危険から回避できるようにしたとのこと。それと私の足で感じたことですが、左足の股関節がずれているので、自然に座っていると外側に、見た目、股を開いた状態になることが足には楽なのですが、フレームが太いので自然に寄りかかる状態になり足の位置を意識しないで済みます。美容院でシャンプーの時足元を上げてくれるのですが、私にとっては すごく辛いのです。力を入れず自然にしていることが疲れをとることもあると思いますので、このラリーは椅子という機能の面、素材でも構造の面でも 優れていると感じました。また、ほとんどすべてが標準装備となっております。

カラーバリエーションも素敵でした。普段は好みのタイヤ、吊辞用にはグレイ、と使い分けている方もいらっしゃるそうです。

ラリーですが、今後、サスペンション付きのものと、付いていない2種類になり、中間的な「軽快モデル」は廃止の方向です。もちろん、障害者の方すべての人に合うとは思っていません。廣川さんは現在、電動車いすを必要としている方に、その方に合うものを作っています。そのような現段階のひとつひとつが今後の会社の成長に発展していくように思いました。開発者とお会いできることなど滅多にありません。とても有意義なお時間をとっていただきました。また廣川さんはとても紳士的で素敵なお方でした。素人の不躰な質問にもやさしくわかりやすく教えてくださいました。帰りには玄関までお見送をしていただき恐縮してしまいましたが、素晴らしい方とお会いできたこと自体幸せに思っております。写真ですが、とても快くご協力していただいたのですが、廣川さんご自身と部屋の様子を写していないことに後から気がつきました。すみません。是非、皆様もご自身の身体で体感してくださいませ。また、ご紹介してくださいましたTSさん、ありがとうございます。

(記 M.S.)





低い車体から、ぐっと前に張り出した真っ白で幅広いフレーム。インタストリアルデザイン、広川弘道(64)が四年前に設立した会社、ムーヴ(横浜市)初の商品だ。

「一から試作を始め、一六三番目にたどり着いたデザインだから」
東京芸大大学院修士課程修了後、フリーデザイナーとして活躍。六十歳を前に「理想の車いすを世に送ろう」と決めた。大学院で専攻した車いすデザインは「中端だった」ためだ。目指したのは「見てカッコ良く、乗って気持ちいい、すれ違った人が振り返りたくなる車いすのペンツ」。現行製品の主流は軽く、簡単に折り畳め、素材は丸パイプ。広川の目には「車いすというものの存在感を消す」デザインに映る。自分は逆をいくと決めた。

安全・安心のデザイン

こだわりの「高級車」

「目」の手になったツインチューブを住友軽金

「目」の手になったツインチューブを住友軽金

「目」の手になったツインチューブを住友軽金



路面の凹凸が直接、尻に伝わりやすい。広川は座席下部を後輪の中心から強化ゴムでつり下げ、前後部を分散と温度上昇防止に効果があるため床ずれが付きにくい。航空機や高圧電圧をかなり吸収する川島織物の製品だ。

見た目がかっこよく、乗り心地もよい車いすのペンツを目指した「ラリー」

や高く、今春の発売後、街に出たのは二台。広川の思いが市場に通用するかは未知数だ。

ただ、車いす歴十五年で、八台目の「愛車」としてF263を利用し始めた男性ショップ店員(37)は評価する。「これまで一カ所に体重がかかって痛くなるので、専用クッションを置いたうえで数十分置きに腕で体を持ち上げ姿勢を変えていた。F263ではその必要がなく、クッション無しで長時間でも乗ってられる」

ブランド名は「ラリー」。一高輪化で車いす利用者は増える。このいすで長時間、思い切り町中を動き回ってほしい」と広川は願う。一敬称略

有限会社 ムーヴ
MOVE Inc.
代表 廣川弘道

〒231-0801
横浜市中区新山下
3-15-2-208
TEL 045-625-3621
FAX 045-625-3622
E-mail :
h-hirokawa@move-inc.jp
Web URL:
<http://www.move-inc.jp>

試乗する場所

神奈川県産業技術総合研究所・開発室 1-3 ムーヴ

〒243-0435
神奈川県海老名市
下今泉 7 0 5 - 1

TEL 046-236-1500 (代)
ムーヴ開発室
TEL 045-625-3621 (転送)
<http://www.kanagawa-iri.go.jp/>